

IPL（パルス光）アプリケーションでリジュビネーション治療を受けられる方へ 説明・同意書

この治療はパルスライト照射による熱発生を利用し、良性色素性病変や血管病変に対して治療を行う事ができます。IPL エネルギーは皮膚（表皮及び真皮上層）に発生したメラニン色素に吸収され、色素を破壊し表在性色素班などを薄くする効果があります。また熱作用により繊維芽細胞を刺激し、コラーゲン増生作用を促進させリジュビネーション効果も期待できます。

治療が受けられない方・禁忌

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ・ペースメーカーや植え込み式除細動器を使用中、重篤な心疾患に罹患
- ・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある
- ・免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中
- ・出血性疾患に罹患、抗凝固薬を内服中
- ・妊娠中、またその可能性がある
- ・ケロイド体質
- ・発熱している・全身状態が芳しくない
- ・光過敏性発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往
- ・光過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中
- ・金製剤を用いて治療中の方

治療を行えない部位

- ・日焼け直後の部位
- ・シリコンや金属プレート等の人工物を埋め込んでいる
- ・感染性の皮膚疾患又は、切開創・開放創・炎症・化膿がある
- ・悪性腫瘍直上・単純ヘルペス1型、2型の活動病変上
- ・2週間以内の強い日焼け部位
- ・刺青・アートメイク上
- ・3ヶ月以内のレーザーリサーフェイシング、酸度の強いケミカルピーリング施術部位

治療後注意事項と自己ケアについて

- ・しみやソバカスなどは、照射直後～数日で濃く浮き出るものがあります。洗顔や入浴を繰り返すことで、2週間程度で自然に脱落します。無理に擦ったり、剥がしたりしないでください。
- ・炎症が引かず、痒みや熱傷等の症状を呈した時は来院してください。
- ・治療期間中、治療後6か月間は強い日焼けを避け、保湿剤や日焼け止め（SPF30以上）を使用して、スキンケアを行ってください。
- ・治療当日は、シャワー浴とし熱いお湯を照射部位にかけないようにしてください。
- ・治療当日は、多量の飲酒は避けてください。

副作用

- ・疼痛 ・発赤 ・浮腫/腫脹 ・熱傷 ・痂皮形成 ・水疱 ・一過性の炎症性色素沈着、
- ・色素脱失 ・軽度の瘢痕形成

下記の治療との推奨治療間隔

- ・ボトックス注入部位…… 1週間
- ・ヒアルロン酸コラーゲン等のフィラー注入部位……1-2週間

推奨治療間隔

- ・1～3回目…約1か月/毎
 - ・4回目以降…約2～3か月/毎
- ※治療効果は1回の治療でも効果を実感できますが、症状により改善できない部位もあります。
治療回数はメラニンの色調、深さなどにより違い、回数がかかる場合もあります。

院長殿

私は、上記の内容を理解し、皮膚良性色素性病変に対して治療を受けることに同意致します。

年 月 日

患者氏名